

社協だより

「ひまわり」



第57号

発行 津奈木町社会福祉協議会
(津奈木町農業就業改善センター内)
TEL 61-2940
FAX 61-2941
HP <https://tsunagi-shakyo.jp>

赤い羽根募金は、町内の福祉団体の活動に使われています。



私達は、精神障がい者家族会（ひまわり会）です。
毎年共同募金からの助成金を会員の活動に使わせてもらっています。
熊本県ふれあいピックや恒例のそうめん流し、その他会員の生きがい活動に使用しています。
町内の会員は、ボランティアも入れて10数名です。
家庭で誰にも相談できずに悩んでいませんか？家族会の仲間と一緒に話しましょう。
心身共に癒されますよ。

令和2年10月1日から共同募金運動を展開しております。
皆様の募金は、お住いの地域に還元されるだけでなく、今回の
熊本県7月豪雨災害のボランティアセンター設置費用など、国内
で起きた災害、被災地支援にも使われております。
あたたかいご支援とご協力をよろしくお願いします。

赤い羽根募金の使いみちは、
赤い羽根データベースはねっとでご覧いただけます。
<https://hanett.akaihane.or.jp/>



スマホからも、
募金ができます。



ひまわり会の皆さん

コロナ禍での活動報告

古川区長 西川幸生

令和2年度は新型コロナウイルス禍で自治区活動が制約の毎日ですが、区長として何かしら活動の足跡を残すべく無い知恵を絞りました。
町主催の敬老祝賀会も中止となり地域老人交流会の開催も難しいと判断し代替えとして全世帯に「紅白饅頭」を配る事業を検討しました。



9月13日に各班の婦人部班長の協力を得て無事配布しました。浅慮の活動でしたが、地区の皆さん

んの記憶に残ってくれればと淡い期待を抱いております。

たっしやか塾より

本年は3月〜5月までコロナウイルス感染拡大防止により休塾となり、休塾の間にボランティアの方もお手伝いしていただき、布マスクを製作しました。制作したマスクは塾利用者に配布しました。



6月より新年度の事業が始まりましたが、7月の豪雨災害により再び休塾。



7月4日大雨により、町内でも多くの被害が発生しました。

津奈木町社会福祉協議会では、7月6日芦北町社会福祉協議会と合同で「芦北・津奈木広域災害ボランティアセンター」を開設しました。また、効率的な運営のため社協内に「津奈木サテライト」を設置しました。新型コロナウイルス感染拡大防止によりボランティアの受付は熊本県内に限定される事態となりましたが、町内をはじめ、県内から多くのボランティアが参加されました。

被害に遭われた方々が、少しでも早く元の生活に戻れるようにという思いで一生懸命作業をしてくださいました。

皆様のあたたかいご協力ありがとうございました。



1か月後の8月4日から事業再開しましたが、感染リスク警戒レベルとなり再び休塾となりました。休塾中に利用者宅を訪問し健康状態の確認や月の運動宿題などを配布しました。
たっしやか塾では65歳以上より70歳代の利用者を募集しています。
連絡先『たっしやか塾』
☎ 84-9840

令和元年度 事業報告

令和2年6月10日25日の両日、社会福祉法人津奈木町社会福祉協議会の理事会、評議員会が開催されました。

令和元年度の事業報告並びに決算報告をいたします。

地域福祉活動

地域福祉推進事業
小地域見守りネットワーク
地域交流事業
あんしん見守りネットワーク
福祉スポーツ大会
紙おむつ給付金
福祉用具貸与事業
行路人旅費貸付事業
初盆回向

ボランティア事業

ボランティア協力校
ふれあい祭り協力
災害ボランティア設置訓練
クリーン作戦

低所得者事業

生活困窮者等自立支援事業

介護保険事業

訪問介護事業

委託事業

地域包括支援センター
見守り活動支援事業
たっしやか塾

その他の福祉事業

福祉団体助成
福祉実施調査
福祉団体事務

会務の運営

理事会、評議員会
共同募金会事務
日赤事務

勘定科目		決算額
収入	会費収入 (一般会費、賛助会費、法人会費)	542,000
	寄付金収入 (香典返し、一般寄付)	1,768,000
	経常経費補助金収入 (県・町・県社協補助・共同募金配分金)	14,325,095
	受託金収入 (町・県社協受託)	30,183,659
	貸付事業収入	368,000
	事業収入	49,500
	介護保険事業収入	14,049,603
	受取利息配当金収入	4,027
	その他の収入	956,670
	事業活動収入計(1)	62,246,554
支出	人件費支出	47,603,796
	事業費支出	7,785,394
	事務費支出	3,367,738
	貸付事業支出	368,000
	共同募金配分金事業費	1,287,889
	助成金支出	1,464,560
	負担金支出	83,740
	事業活動支出計(2)	61,961,117
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		285,437

勘定科目		決算額
その他の活動	収入	0
	支出	1,910,820
	その他の活動資金収支差額(6) = (4) - (5)	△ 1,910,820

当期資金収支差額合計(7) = (3) + (6)	△ 1,625,383
---------------------------	-------------

前期末支払資金残高(8)	33,089,788
--------------	------------

当期末支払資金残高(7) + (8)	31,464,405
--------------------	------------

合計		決算額
収入合計	(1) + (4) + (8)	95,336,342
支出合計	(2) + (5)	63,871,937
収支差額 = 当期末支払資金残高(7) + (8)		31,464,405

令和元年度資金収支計算書

役員紹介

役員等の交代がありましたのでご報告いたします。

理事 (敬称略)

山田豊隆 町長
上村正雄 民協会長
川野雄一 議会議長
福山榮喜 老人会長
濱田孝成 身障会長
上村道子 福祉施設長

監事

村上義廣 学識経験者
竹永正 学識経験者

評議員

上村勝法 議員
野崎武寿 商工会
○原田茂人 区長
石田ミサ子 婦人会

○賤部美智子 民協
谷口得也 家族会
山本幸子 児童
○葦浦祐一 ほけん

※新任の方…○印
福祉課長



災害ボランティアセンター



泥だし作業



災害ボランティアセンターへの依頼内容は、災害で使えなくなった家財の搬出やゴミ出し、自宅内に入った土砂の撤去などがありました。
雨の日も多く、水分を含んだ土砂出しはとても重く重労働でした。熱中症にも注意が必要で、こまめに休憩をとり作業を進めてもらいました。
作業を終えたボランティアは全身泥だらけでした。

ニーズの内容によってはお断りすることもありましたが、依頼を受けたニーズはすべて終了し、8月31日で津奈木サテライトは閉所しました。ご協力ありがとうございました。



災害ごみの搬出

感謝感謝でいっぱいです

合串地区 平野新市
炎天下の中、土嚢袋詰めや重機が入らない箇所での作業に、八代の秀岳館高校をはじめ、沢山のボランティアの皆さんに復旧作業にあたっていただき、大変助かりました。
感謝は老いて深く
福浦地区 福山エミ子
今回の災害で社協に相談し、すぐにボランティアの方を紹介してくださりました。

ボランティア精神を持った方々の寡黙でひたむきな姿、和気藹々と最後まで笑顔の絶えない秀岳館の生徒さん、そして泥まみれの生徒さんの一人一人の服を先生が最後までシャワーで洗っていた優しさ、師弟愛というのでしょうか、美しい光景に私は身も心も癒され限り

～お知らせ～

地域支え合いセンター

令和2年7月豪雨災害の発生に伴い、10戸の仮設住宅が、9月26日に桜戸地区に建設されました。

津奈木町から地域支え合いセンター事業を受託し、被災された方々の生活再建を支援していきます。支え合いセンターは主任生活支援員1名、生活支援相談員1名を配置し、仮設住宅や被害を受けた方のお住まいに巡回訪問等行い、見守り活動や困りごと、各種相談への対応、交流の場づくりのお手伝いを行います。

使いやすさ抜群

県立鹿本商工・災害時ボランティア朝倉班の生徒さんが手作りの鋤簾(じょれん)を送ってくれました。ボランティアさん

ない尊敬と感謝の念でいっぱいでした。地域の方々の温かい言葉、いつも話を聞いて下さる一人暮らしの私に最初から最後まで親身に寄り添ってくださった社協の皆様へ心より感謝申し上げます。

津奈木町活動実績

ニーズ累計	30件
ニーズ完了	20件
キャンセル等	10件
ボランティア総数	204人

令和2年8月31日現在



泥だし用鋤(鋤簾)

んからは「とても使いやすい」と好評でした。ありがとうございました。